



## 01 巡査（警察学校 副総代）

身近で起きた交通事故をきっかけに、遺族の方の悲しむ姿を見て、一人でも悲しむ人を減らす仕事がしたいと思い警察官になる決意をしました。警察学校では、厳しい訓練もありますが、同期と励まし合い、乗り越えた時には達成感があります。富士登山訓練など野外の訓練も行われ、一人では挑戦できなかったことも同期とともに挑み、成長できることはとても良い経験です。

最初は誰でも分からぬところからスタートします。警察知識や技術・体力を身につけ、ともに誇らしい仕事ができる日を楽しみにしています。



## 02 巡査

助けが必要な方の力になりたい、そして憧れの白バイ隊員として交通事故を一件でも無くしたいと思い、警察官を目指しました。警察学校は、一人前の警察官、社会人として必要なことを学べ、成長できる環境が整っています。授業や訓練は厳しい面もありますが、自由時間には同期や教官とスポーツをしたり、休日は家族や友人と会ってリフレッシュしメリハリのある生活を送っています。警察学校に入るまでは不安もあると思いますが、「人のために何かしたい」と思っている方は、自信を持って警察官を目指して欲しいです。



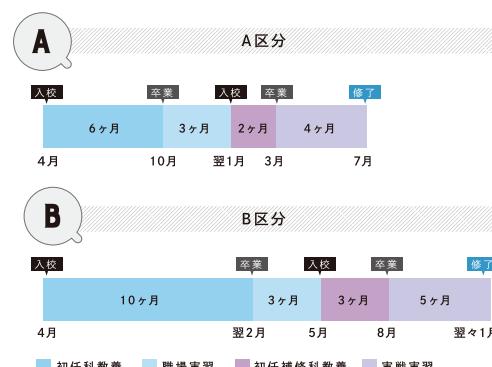
## 03 巡査

幼い頃からバトカーや白バイ、地域のために働く警察官の姿に憧れがあり、困っている人を助け地域貢献したいと思い、警察官を目指しました。警察学校は、一人前の警察官、社会人として必要なことを学べ、成長できる環境が整っています。授業や訓練は厳しい面もありますが、自由時間には同期や教官とスポーツをしたり、休日は家族や友人と会ってリフレッシュしメリハリのある生活を送っています。警察の仕事は、事件を解決し困っている人を助ける、他の何にも代えられない仕事だと思います。ぜひ安全・安心な山梨を目指して一緒に働きましょう。



## 採用時教養

第1段階	初任科教養	警察学校
	法医学、術科、捜査、警備等の地域警察官に必要な基礎的な知識・技能を学ぶ	
第2段階	職場実習	各警察署
	指導員の指導の下、現場勤務体験等を通じて地域警察官に必要な知識・技能を習得する	
第3段階	初任補修科教養	警察学校
	職場実習における問題・疑問点をくみ上げて補強する	
第4段階	実戦実習	各警察署
	地域・捜査実習を通じて本格的な実務に対応するための知識・技能を習得する	



Bさん  
南甲府警察署・巡査長  
(採用 3年目)

### MEMO

警察学校を卒業後、最初に勤務するのが地域警察官です。その中でも交番や駐在所は、地域の安全安心を守る顔。パトロールなど様々な職務を通じ各部門で活躍する警察官となります。



## 地域警察官

# REAL TALK



Aさん  
南甲府警察署・警部補  
(採用 15年目)

YAMANASHI POLICE

# 02 対談

## A DAY OF WORK

### 地域警察官の一日

9:30	勤務開始・引き継ぎ
10:00	巡回連絡
12:00	昼食
13:00	パトロール
15:00	届出対応
19:00	夕食
20:30	夜間パトロール
23:00	休憩
1:00	事案対応
3:00	仮眠
7:00	事務処理
8:00	立番
9:30	引き継ぎ・勤務終了



### 二人の間柄について教えてください。

- A: 実務的には2年くらい一緒に仕事をしています。24時間一緒にいるので、かなり短い期間でも信頼関係など、いろいろお互いのことを分かってきたかなって思うんですけど。  
B: 仕事を通じて私生活でも尊敬するところしかありません。いろいろ教えてもらっています。  
A: 現場では不安な部分を抱えながら業務を任せることはなかなか難しいので、信頼関係は大事です。

### 職場の雰囲気はどうですか？

B: 職場の雰囲気はすごくいいです。働きやすい環境だし、事件事故が詰まっていても、ベテランの先輩もたくさんいるし、相談しやすい環境があるから頑張れます。

A: 人間関係という部分においては、結構ストレスフリーというか、何でも相談しやすいうような環境ができると思っています。

### 働く上で大切なことはありますか？

B: 精神的にも肉体的にも大切なことはあります。事件事故など悲惨な現場に行くので…。

A: 何か事案があって対応すると、書類作成などやらないといけないことが色々あるんですが、それをやってる最中に次の事案が入ったりして自分のペースで仕事をできないところが少し大変なのだと思います。

### 次から次へと事案が増えるのはかなり大変そうですね。

A: そこに地域警察官としての大変さがあるから。様々な現場に対応できる知識、コミュニケーション能力、精神的な強さとか、経験で培っていくものなんですが、最初は苦労しました。

### そんな中でもやりがいは？

B: 警察官ほどの役に立っていることを実感できる仕事はないと思います。対応した人からの「ありがとう」「ご苦労様」という言葉や、子ども達から歓声された時などは嬉しく思いますし、安心を守る警察官としてのやりがいを感じます。

自分の色んな個性を生かせる環境があります。  
興味がある方はぜひ警察官採用試験を受験してください！

A: 東日本大震災の支援に行った際、被災者から「ありがとう」と言われたり、感謝の手紙をもらったりです。体力的にも精神的にも苦しい現場ではあったけど、そういう言葉で疲れも吹き飛ぶし、助けを必要としている人の直接的な力になれるのは警察の仕事の魅力だと思います。

### 困難な現場での乗り越え方は？

B: 困った時は先輩や同僚に相談して、一人で抱えないようにしています。先輩には頻繁に声をかけてくれるし、分からないことがあれば勉強のチャンスだと思って、どんどん聞いています。  
A: 横はこういう子の子達にも頼ります。お願いする部分はお願いするし、上司にも相談はしますが、下の子達の存在が自分を支えてくれていると思っています。動きもすごくいいし、とてもいい関係性で仕事ができています。

### オンオフの切り替えについて

B: 休みの日は、県警のサッカーサークルに参加して体を動かしたり、旅行に行って美味しいものを食べてリフレッシュしています。サッカーサークルには他の所属の人も参加していて、知り合いも増えたり、いいコミュニケーションの場になっています。  
A: 妻と子供のことで、子供の面倒を見たり体力作りをしています。  
B: 先輩すごくで、勤務の後に体力作りで走るんです。  
A: 後輩と年齢が一回り違うので、そこを埋めるには、やっぱりこの子たちがやっている以上にやらないと僕がついていけなくなっちゃうんです。

### どんな警察官になりたい？

A: 被害者の前でも加害者の前でも動じないで事案に対応し、解決できる安心感、信頼感のある警察官になっていきたいです。そして、これから後の後輩たちから尊敬されるような警察官になれるなら嬉しいです。上下関係に縛られず、相談しやすく何でも話せる先輩というか、そういう警察官にならってみたいですね。  
B: 制服を着た時にすごく嬉しかったのを覚えています。その時の気持ちを忘れずに、目の前の仕事一つ一つに誠実に向かい、地域の方に信頼される警察官になれるよう力をつけていきたいです。

## これから

### 警察官を目指す人へ。



警察の仕事はチームでやる仕事です。  
みんなで助け合いながらやっていくので  
安心して受験してもらえばと思います。

ともに地域警察官として勤務する二人のリアルトーク。